

# 上道公民館 だより



発行：岡山市立上道公民館

〒709-0631 岡山市東区東平島 191

Tel/Fax (086) 297-2377

[E-mail] joutoukouminkan@city.okayama.lg.jp

[URL] https://www.city.okayama.jp/shisei/0000032270.html

[フェイスブック] https://www.facebook.com/JoutouKouminkan

## ◇主催講座のご案内◇ 1～2 ページ

- 状況の変化により日程・内容を変更する場合があります。
- 講座の様子を記録撮影し、掲示物・web・報告冊子等で使用することがあります。
- お申し込み時にいただいた個人情報は、その講座のみに使用し、他の目的には使用しません。



ESD 事業

### 上道地区の歴史を学ぶ会 \*参加無料

上道地区の歴史遺産を散策しましょう。

**亀山城跡(岡山市東区沼):岡山市指定史跡 宇喜多家ゆかりの平山城**を現地視察します。

講座の様子を動画撮影・編集し、後日公開する予定です。あらかじめご了承ください。

#### ■歴史散策(浮田小学校区)■ ※少雨決行

【日時】4月12日(土)9時30分～11時30分

【内容】予定コース(現地集合解散)

浮田ふれあいプラザ集合 9:30 亀山城跡保存会による説明 → 亀山城跡西の丸 10:00 →

徒歩 → 亀山城跡本丸見学 10:20～11:30

【定員】20人(先着順)

【持ちもの】上履き、飲みもの、  
歩きやすい服装で



【申し込み】受付中。4月5日(土)締切

### 困り感のある子どもの支援を考える会 講演会

\*参加無料

共催：NPO法人みんなの劇場・おかやま「カンガルーポー」

子どもたちのよりよい成長と親子関係の改善につながるための、子どもとの前向きなかわりについて、お話をお聞きします。

【日時】3月10日(月)10時～12時

【演題】「発達障害と学校生活 子どもの

可能性を引き出すための支援とアプローチ」

【講師】就実大学教育学部教育心理学科

助教 山西 健斗さん

【対象】就学前から小学生・中学生の保護者

【定員】30人

【申し込み】受付中。来館か電話で



令和7年度

\*参加無料

### 高齢者生きがいセミナー

65歳以上の方対象の連続講座です。年間を通じての受講を原則とします。

\*すべて金曜日 13時30分～15時

① 5月 23日	うたで巡る ふるさとの旅 ちくわ笛奏者 桃太郎のからくり博物館 館長 住宅 正人さん
② 6月 27日	だまされちゃ ダメ (金融犯罪・特殊詐欺) 東警察署 生活安全課
③ 7月 25日	高校生と遊ぼう(仮)
④ 8月 22日	宇喜多家と岡山城～令和の大改修～ 岡山市産業観光局 観光振興課 小野田 伸さん
⑤ 10月 31日	今こそ知りたいESD・SDGsとは ESD・SDGsから地域の未来を考える会 代表 岩堂 秀明さん
⑥ 11月 28日	高齢者の健康(認知症防止)(仮) 公益社団法人 岡山県看護協会 手嶋 幸恵さん

日程、演題については、変更となる場合があります。

【定員】50人(先着順)

【申し込み】4月7日(月)から。来館か電話で

## 上道ツツジ・ウォーキング

～新庄山・小鳥の森コース～ \*参加無料

三徳園から新庄山まで、往復約4kmのコースを歩きます。沿道に咲くツツジなどの草花のお話を、岡山山草会の金高正典さんにお聞きしながら楽しく歩きましょう。

【日時】4月24日(木)

10時～12時

※雨天の場合、中止します。

【集合・解散場所】三徳園 研修交流館玄関前  
(岡山市東区竹原505)

【定員】20人

【持ちもの】水分補給用の飲みもの

【申し込み】3月6日(木)から受付  
4月17日(木)締切



## じょうとう介護予防教室 \*参加無料

主催：岡山市ふれあい介護予防センター

3月27日(木) 13時30分～15時30分  
体力アップ!筋力アップ!みんなで体を動かそう

4月24日(木) 13時30分～15時30分  
フレイルチェック&脳と体が喜ぶ♪リズム体操

【対象】おおむね65歳以上の岡山市民

【定員】各回当日先着60人(事前申込不要)

【持ちもの】筆記用具、水分補給用の飲みもの、動きやすい服装・靴で

【問い合わせ】岡山市介護予防センター

(TEL086-274-5211)

## 上道キネマ倶楽部 \*参加無料

■3月25日(火) 13時30分～  
「邂逅(めぐりあい)」(1942年 米87分)

■4月22日(火) 13時30分～  
「雨月物語」(1953年 日本97分)

【定員】当日先着概ね50人  
(事前申込不要)



## おはなしの会

\*参加無料

「小鳥の森文庫」によるストーリーテリングや絵本の読み聞かせです。



【日時】3月8日、4月12日

11時～11時30分(毎月第2土曜)

【内容】3月「北風に会いにいった少年」ほか  
4月「ジオジオのかんむり」ほか

【会場】上道公民館 1階ロビー(キッズコーナー)

【申し込み】事前申込不要

## 初歩からのパソコン・スマホ なんでも相談

\*参加無料

公民館ITボランティア「PC上道」スタッフが、パソコン・スマホ・タブレットに関する相談にお答えします。パソコン等の機器は、持ち込みをおすすめします。

【日時】3月9日・23日、4月13日・27日  
(第2・4日曜) 14時～16時

【申し込み】受付中。来館か電話で  
相談内容・使用機器(OS)・  
機器持ち込みの有無をお知らせください  
各実施日の5日前(火曜日)締切

## ◆PC上道メンバー募集中◆

公民館ITボランティア「PC上道」メンバーを募集します。相談者のパソコン・スマホ・タブレットに関するお悩みを一緒に解決できる方をお待ちしています。

詳細は公民館までおたずねください。

## ◇お知らせ◇

《公民館ロビー展》  
「春の山野草」展

～上道山野草クラブ～

【日程】4月5日(土)～4月8日(火) 16時  
【場所】上道公民館 1階ロビー

## バスで行く 春のカタクリ観察会

【主催】上道山野草クラブ

岡山山草会会長の金高さんの解説付きです。

【日時】3月29日(土) 7時30分～18時  
※小雨決行、歩きやすい服装・靴で

【集合場所】上道公民館駐車場

【行先】川上ふるさとプラザ、吹屋(散策)、朝日堂(昼食・会席10品)、平松カタクリ園、高梁紺屋川(花見)

【費用】6500円(バス、昼食代)当日集金

【定員】先着45人

【申し込み】上道公民館ロビーに置いてある申し込み用紙に必要事項を記入し、公民館窓口へご提出ください。3月18日(火)締切

詳細は金高さんへおたずねください。

携帯 090-2808-9717

## 中学生、高校生たちが大活躍!! ～上道ボランティア部～

令和5年度にスタートした「上道(かみつみち)ボランティア部」は、2年目を迎えました。昨年までに経験したものは内容にさらに磨きをかけ、また新たな取組にもチャレンジしました。

今年度は、ボードゲームやミニモルックなどを通して多世代の交流を図ったり、夏祭りやスマホ講座、公民館文化祭の体験ブース、クリスマスケーキ作りなどに取り組んだりして、子どもから高齢者まで多くの方に参加いただきました。自分たちの企画で、地域の方々の世代を超えた交流が進むことが励みになっています。

近日中に、メンバーを募集し、令和7年度の活動をスタートする予定にしています。みなさんの応援をよろしくお願いいたします。



世代交流ニュースポーツ  
(ミニモルック)



夏祭り  
(輪投げ、トイかえっこ)



クリスマスケーキ作り



文化祭体験ブース  
(バルーンアート、カブラ積み木)



公民館大会(活動内容を発表して、他公民館のボランティアグループのメンバーと交流しました)



## 冬の野鳥がいっぱいたよ

## 三徳園(小鳥の森)

2月8日に三徳園(小鳥の森)で、日本野鳥の会岡山県支部の森本章男さんを講師に、子どもから大人まで17人の参加をいただき、冬の野鳥観察を行いました。

寒風吹きすさぶ中での観察となりましたが、ヤマガラ、メジロ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、コゲラ、セグロセキレイ、ハクセキレイなどたくさんの野鳥を観察することができました。

ナンキンハゼの実に群がるメジロなど、参加者は一生懸命に双眼鏡で野鳥を追いかけていました。



当日、観察した野鳥たちです。(撮影:井上英二さん)



ジョウビタキ(左:オス、右:メス)



メジロ

-上道地区の歴史を学ぶ会だより-

### ④郷土の詩人 有本芳水



令和6年8月24日(土)、「郷土の詩人 有本芳水を訪ねて」と題して、芳水研究者の大原健二さんにお話いただきました。大原さんによると、芳水は詩人であり、プロデューサーであり、教育者であったといひます。明治から昭和にかけて多くの若者を詩の世界に誘い、文学者にも影響を与えた有本芳水の人生や業績について、その内容の一部をご紹介します。

\* \* \* \* \*

みなさんをご存じでしょうか。かつて少年詩の世界でカリスマ的存在となった偉大な詩人が上道北方にいたことを…。その人の名は有本芳水。

明治19年、姫路市飾磨生まれ。岡山関西中学(現関西高校)に入学後、日本詩本流七・五調の「孝女白菊の歌(落合直文作)」に感動し、詩の世界に浸っていきます。投稿雑誌を通じ、与謝野晶子、石川啄木、萩原朔太郎、三木露風など当時の著名な詩人と交流を持ち、進学した早稲田大学でも関係は続いていきます。しかし、当時の詩の流行は浪漫主義、自然主義に移りつつあり、芳水の七・五調ではなく、口語詩・新体詩といわれる自然体の詩が時代の最先端となっていました。交流のある北原白秋、若山牧水などが詩集を出していく中で、芳水は自分のオリジナリティが出せないまま、詩集を発売するに至りませんでした。懊悩した芳水は、会社員の道を歩むこととなります。

実業之日本社に就職し、雑誌「婦人世界」「日本少年」を担当、「日本少年」の主筆を経た後、実業之日本社取締役になりました。この間、芳水は自分の置かれた状況での価値観の創出、生きるための人間力に目覚めていくこととなり、やがて自分らしい詩(自然主義の風潮であっても七・五調の詩、抒情的な詩を主とする)を少年詩として発表していきます。大正3年に刊行した『芳水詩集』(表紙絵は竹久夢二)は全国の少年の心を揺さぶり、300版を超えるロングセラーとなりました。絶大な人気を博した芳水は、少年ファンのカリスマ的存在となったのです。

その後、東京大空襲で家を失い、妻の郷里の上道北方に移住。吉備高等学校、岡山大学、美作短期大学、岡山商科大学(名誉教授)で文学を教えました。昭和51年に89歳で亡くなるまで、終生を岡山の地で過ごし、その穏やかな人柄は、多くの人を惹き付けて止みませんでした。

芳水の詩は、明治本流の詩から外れて分流となり、詩集発売後も詩壇に復帰することなく、また熱狂した少年たちもやがて大人になり、忘れ去られることとなりました。このため、芳水は詩壇外に置かれ、残念ながら詩人としての歴史的評価が伴いません。しかし、芳水の残した業績は、詩を通じて一般的大衆誌に芸術的エッセンスを与え、その作品価値のみならず子どもたちの文学的情操を高め、教育的価値をも伴うものでした。上道地区のほか各地に残る詩碑や校歌の作詞、姫路信用金庫が主催する「有本芳水賞」などに、詩人としての芳水は今も息づいています。(文・写真:澤井幸男)



上道地区の芳水詩碑 (上道丸山公園憩の場)

#### ◇公民館の開館時間・休館日

◆開館時間  
9:30~21:00  
(日曜 ~17:00)

◆休館日  
水曜・国民の祝日・年末年始・  
水曜が祝日の場合はその翌日も

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			